

【市長定例記者会見資料】
令和6年9月19日
都市整備部
道路河川課（担当：堀）
直通：079-559-5101 内線：2810
産業振興部
里山保全課（担当：三谷）
直通：079-559-5226 内線：2846

里山保全とインフラ管理が連携するサステナブルなしくみづくりについて

1 概要

放置された竹林の解消や里山資源の可視化など、サステナブルな仕組を構築し里山保全活動の推進を図るとともに、道路施設等の環境負荷及び維持管理費用の低減を目指すため、市内の活動団体と連携し、竹林から産まれた竹チップを利用した舗装技術の実証実験を実施します。

この実験により、市内で供給可能な竹チップの量や品質などに加え、新たな舗装技術の耐久性や機能性について検証します。

また、実施にあたっては兵庫テックイノベーション2023の取組みを始め近隣市において竹資源活用の知見を有するバンブーペイブ協会と連携協定を締結し進めてまいります。

2 試験施工について

- (1) 実施予定地：フラワータウン内市道中央分離帯
- (2) 施工規模：20～30㎡を予定（中央分離帯の10m程度）
- (3) 竹チップ量：約125kg（5kg/㎡）
- (4) 期待する効果：里山保全活動の推進、環境負荷の低減、維持管理費用の低減、美観の確保
- (5) 検証する内容：市内で供給可能な竹チップの量、竹チップの品質、供給体制、施工性、舗装の耐久性や機能性、雑草繁茂抑制効果
- (6) その他：試験施工隣接地（フラワータウン内）の中央分離帯で土系舗装を利用した雑草繁茂抑制工事も実施予定



3 連携協定の締結について（予定）

- (1) 協定者：バンブーペイブ協会 理事長 佐藤 研一
- (2) 協定日：令和6年10月1日（火曜日） 14：00～
- (3) 場所：三田市役所市長公室（市役所本庁舎3階）

里山保全とインフラ管理が連携するサステナブルなしくみづくり

